

学校教育目標

学校保健目標

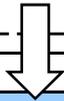
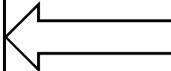
- 生涯に通じる健康観の確立と自己管理能力の定着を図る。
- 生徒及び職員の心身の健康を守り、安全で快適な学校環境を作る。

重点目標

- ①傷病発生の防止と救急処置や救急体制の充実を図る。
- ②健康観察の実施を徹底し、感染症の集団発生及び、長期欠席者の早期把握に努め、指導の充実を図る。

生徒の実態及び主な健康課題

- 保健室来室者の〇〇%は外科的対応である。
- 災害給付申請の〇〇%は部活動によるけが等である。
(〇〇年度申請総数 〇〇件のうち〇〇件)
- 皆勤を目指す生徒が多く、体調が悪くても登校するため、もし感染症が発生した場合には、校内での感染拡大が危惧される。
- 少数ではあるが、人間関係等から不安定となり学校生活に不適応を起こす生徒がみられる。



保健室 経営目標	具体的な方策	評 価							
		自己評価				他者評価			
		よくできた	ほぼできた	あまりできなかった	まったくできなかった	今後に向けて	誰から	方法	意見・助言等
指 導 予 防 充 実 受 傷 後 の 判 断 関 係	A) 傷病の発生状況について集計・分析し、その結果を職員・生徒に知らせる等、指導及び対応に生かす。						教職員	聞き取り	
	B) 救急処置の機会や災害給付申請の指導時に、けがをした原因を振り返り、再発防止ができるように個別指導を徹底する。						生徒 教職員	アンケート	聞き取り
	C) 部活動の生徒を対象に、けがの予防や応急手当の方法について指導する機会を設ける。						生徒	聞き取り	
	D) 救急処置体制の再確認を行うとともに緊急連絡先及びAED設置場所の掲示を徹底する。						生徒 教職員	聞き取り	

保健室 経営目標	具体的な方策	評 価							
		自己評価					他者評価		
		よくできた	ほぼできた	あまりできなかった	まったくできなかった	今後に向けて	誰から	方法	意見・助言等
組織的な生徒の早期発見に努めるとともに、	A) 毎日の健康観察簿の記入を徹底し、感染症の集団発生を早期に把握する。						学級担任	聞き取り	
	B) 教務支援システム及び文書セキュアにて感染症罹患状況を知らせ、感染拡大を防止する。						担任・教務	聞き取り	
	C) 健康観察による長期欠席者について担任・学年主任との情報交換を密にし、必要に応じ教育相談部やカウンセラーへ繋ぐ。						カウンセラー 関係者	聞き取り	
	D) 支援の方向性を共有化し、学校として対応できるよう外部機関とのコーディネートに努める。						関係者 専門医	聞き取り	

平成〇〇年度 熊本県立〇〇高等学校 保健室経営計画

養護教諭 〇〇 〇〇

学校教育目標



学校保健目標
心身の健康の保持・増進を図るとともに、主体的に健康、安全で幸福な生活を営むことができる生徒を育成する。
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center; margin: 0;">【重点目標】</p> <p>①睡眠、食生活など基本的な生活習慣の見直しをはかり、心身の健康に対する認識を高める。</p> <p>②心の健康問題の早期発見に努め、早期対応できるよう、支援体制作りを努める。</p> </div>



生徒の主な健康課題
<ul style="list-style-type: none"> ・生徒自身が体調不良を、生活習慣と結びつけて考えることができず、自らの健康に対する意識が低い。 ・定期健康診断の結果、耳鼻科・歯科で罹患率が高いが、治療勧告書を出しても受診に結びつかない。 ・自分の気持ちを相手にうまく伝えることができず、人間関係づくりを不安に思う生徒が多い。

保健室経営目標	具体的な方策	評 価							
		自己評価					他者評価		
		よくできた	ほぼできた	あまりできなかった	まったくできなかった	なぜそうなったのか ／ 今後に向けて等	だれから	方法	意見・助言等
生活習慣の充実させる。把握し、その改善に向けた指導を実施する。	A) 実態把握 生活習慣について全校生徒にアンケートを実施し、問題点を分析する。結果を基に保健指導を実施する。	1	2	3	4		担任	生徒 アンケート	聞き取り
	B) 保健指導 特に課題のある生徒には健康相談・保健指導を行い、必要時には保護者も交えて指導を行う。	1	2	3	4		担任	生徒 (保護者)	聞き取り
	C) 生徒保健委員会活動 生活習慣(便秘)に関するテーマを扱い、文化的行事でステージ発表できるように指導する。	1	2	3	4		生徒	生徒	聞き取り アンケート
	D) 学校保健委員会 議題に生活習慣について取り上げ、学校医等から助言をいただき、具体的な対策を立てられるようにする。	1	2	3	4		委員会関係者	学校保健委	聞き取り

保健室経営目標	具体的な方策	評価							
		自己評価					他者評価		
		よくできた	ほぼできた	あまりできなかった	まったくできなかった	なぜそうなったのか ／今後に向けて等	だれから	方法	意見・助言等
心の健康問題の早期発見に努める。早期対応できる	A) 担任との連携 朝の健康観察等を基に、日常的に担任とクラスや気になる生徒についての情報交換ができる機会を設け、共通理解を図る。	1	2	3	4		担任	聞き取り	
	B) 健康相談 保健室来室者で心の問題等が関係していると判断した場合や相談を求めてきた時は、訴えを十分に聴き、課題を把握し、解決方法を共に探る。	1	2	3	4		教職員 生徒	聞き取り	
	C) 情報発信 保健便りや保健室前の掲示板等を利用し、人間関係づくりやストレスの対処法について情報発信する。	1	2	3	4		教職員 生徒	アンケート 聞き取り	
	D) 関係機関との連携 外部の専門機関を受診している場合には、学校・家庭・専門機関等が共通理解のもとで生徒を支援できるように、専門機関訪問や必要時はケース会議を実施する。	1	2	3	4		関係職員 保護者	聞き取り	

保健室経営計画モデル例 ③

平成〇〇年度 熊本県立〇〇支援学校 保健室経営計画

養護教諭 〇〇 〇〇

学校教育目標

学校保健目標		
<p>自分の健康や安全に対する理解や意識を深める指導を行うとともに、健康でたくましい心身を育成する。</p>		
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th style="text-align: center; padding: 5px;">重点目標</th> </tr> <tr> <td style="padding: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・発達段階に応じた健康教育を行うことにより、自己の健康を管理する能力を育てる。 ・安全教育と安全管理に努めることにより、安全についての意識の向上と危険を予測できる力を育てる。 </td> </tr> </table>	重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・発達段階に応じた健康教育を行うことにより、自己の健康を管理する能力を育てる。 ・安全教育と安全管理に努めることにより、安全についての意識の向上と危険を予測できる力を育てる。
重点目標		
<ul style="list-style-type: none"> ・発達段階に応じた健康教育を行うことにより、自己の健康を管理する能力を育てる。 ・安全教育と安全管理に努めることにより、安全についての意識の向上と危険を予測できる力を育てる。 		

幼児児童生徒の主な健康課題
<ul style="list-style-type: none"> ・歯と口の健康に関する意識が低く、むし歯の保有数が多い者や、歯周疾患を持つ者がいる。 ・正しい歯みがき方法が身につけていない幼児児童生徒が多い。 ・障がいだけでなく、心疾患などを併せ持つ幼児児童生徒がいる。 ・基本的なけがの手当の方法が身につけていない者が多い。 ・出会いがしらで人とぶつかるなど、死角や背後からの危険予測ができずに負傷する児童が多い。

保健室経営目標	具体的な方策	評価								
		自己評価					他者評価			
		よくできた	ほぼできた	あまりできなかった	まったくできなかった	／今後に向けて等	なぜそうなったのか	だから	方法	意見・助言等
指導の充実	A 学級担任と連携を図り、歯・口の健康づくりに関する学級活動における保健指導をチーム・ティーチングで実施する。	1	2	3	4			教職員	聞き取り	
	B) 学校歯科医と連携し、幼稚部保護者を対象に歯科衛生士より歯みがき指導を実施する。	1	2	3	4			保護者	聞き取り	
	C) 学校医と連携し、歯科検診後、歯磨き不良であった児童生徒に対し、歯科衛生士より歯みがき指導を実施し、その旨を保護者に通知する。	1	2	3	4			学級担任 児童生徒	聞き取り	

	D)むし歯等の治療勧告書を検診後だけでなく学期末にも発行し、事後措置の徹底を図る。	1	2	3	4		学級担任 児童生徒 保護者	聞き取り	
	E)歯みがきビデオを作成し、歯みがき指導に役立てる。	1	2	3	4		学級担任 児童生徒	聞き取り	
校内の事故等緊急時の救急体制や連絡体制の充実を図る	A)保健室での処置内容について、学級担任・教科担任・保護者等への連絡を徹底する。	1	2	3	4		寄宿舎 学級担任 保護者	聞き取り	
	B)AED の使用方法を含めた応急手当に関して、校内研修を実施する。	1	2	3	4		教職員	アンケート 聞き取り	
	C)救急用品の整備をする。	1	2	3	4		教職員	聞き取り	
	D)事故発生時の対応マニュアルを作成し、全職員に周知する。	1	2	3	4		教職員	聞き取り	
	E)主治医と連携して個別の対応マニュアルを作成し、関係職員に周知する。	1	2	3	4		学級担任	聞き取り	
	F)地域の医療機関の情報を収集し、連絡先や診療時間の一覧を作成するとともに、連携が図れるようにする。	1	2	3	4		学校医 学校歯科医 教職員	聞き取り	
けがの防止に関する指導の充実を図る	A)災害（けが）の発生状況を集計・分析し、その結果と傾向を全職員に報告するとともに、けがの防止に向けた指導を依頼する	1	2	3	4		学校歯科医 学校医 保護者 教職員	聞き取り	
	B)救急処置の機会に、けがをした原因を振り返り、再発防止できるように個別指導をする。	1	2	3	4		教職員 児童生徒	聞き取り	
	C)けがの防止や応急手当について、保健だよりや掲示物等で特集する。	1	2	3	4		教職員 児童生徒	聞き取り	